

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、4年にわたり我々の生活に大きな影響を与え続けてきました。2020年4月に発出された緊急事態宣言を受けて多くの教育機関は休校・休学措置をとり、講義はオンライン授業の形式で実施されるようになりました。また社会人においてはテレワークが推奨され、「在宅ワーク」という働き方が広く取り入れられることとなりました。COVID-19は我々の生活に大きな混乱を生じ、強烈な制限を強いてきましたが、振り返ってみると新しい時代に移行するひとつのきっかけであったことも確かであると感ずります。少なくとも私自身は、COVID-19がなければ今も講義動画の作成や配信等、不慣れなままであったらと思います。

そのCOVID-19も、WHOが5月5日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了すると発表し、また本邦においても5月8日

から感染症法における扱いが変更となり、5類感染症となりました。未だ感染者数は完全に下火になったわけではなく、医療機関においては引き続き緊張感のある状態が続くこととなりますが、いよいよ真にポストコロナ・ウィズコロナ時代が始まったということだと思います。

卒前教育含め臨床検査技師を取り巻く環境も、医師のタスク・シフト/シェアの推進、臨地実習指導者制度の導入、臨地実習の新カリキュラム(臨地実習前技能修得到達度評価の実施等)の稼働等、やはり大きな時代の変化を迎えています。教育施設と医療施設が強力なタッグを組み、新時代に立ちほだかる課題や困難に立ち向かっていくために、日本臨床検査学教育協議会とその機関誌である本誌が重要な情報共有、意見交換の場であり続けることを願ってやみません。

(令和5年5月31日 編集委員 関 貴行)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会  
日本臨床検査学教育学会 学術部  
編集委員会(令和4年・5年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：齋藤良一(東京医科歯科大学、～2023年5月28日)／多田達史(香川県立保健医療大学、2023年5月29日～)

副委員長：高田智世(愛媛県立医療技術大学、～2023年5月28日)／吉田祥子(東京工科大学、2023年5月29日～)

委員：伊藤洋志(神戸常盤大学)、大川龍之介(東京医科歯科大学)、岡山香里(群馬パース大学)、

岸井こずゑ(埼玉県立大学)、櫻井 進(明治薬科大学)、杉本恵子(藤田医科大学)、

関 貴行(日本医療科学大学)、多田達史(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京医科歯科大学)、

星 雅人(藤田医科大学)、松田和之(信州大学)、本木由香里(山口大学)

査読者(第15巻1・2号)：大河戸光章、大村一之、片岡浩巳、藤巻慎一、松浦秀哲、眞野容子、

水野元貴、山西八郎、山本美佐

## 臨床検査学教育 第15巻第2号

令和5年9月1日発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会  
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7

日本臨床衛生検査技師会内

Tel. 080-7228-0508

e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp

http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会  
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店

〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3

Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11

Tel. 03-3238-7501